

海外へ渡航する学生のみなさんへ

留学先で注意すること

日本は、他国に比べて治安がいいということは、今さら言われなくても承知していることと思います。また、海外に行けば、良くも悪くも、人種や国籍を意識する機会に遭遇します。日本人あるいはアジア人だからという理由で、言われのない困難に直面することがあるかもしれません。ヘイトクライム(hate crime、憎悪犯罪)という言葉聞いたことがあるでしょうか？人種、民族、宗教、性的指向など、特定の属性を持つ個人や集団に対する偏見や憎悪による、嫌がらせ、脅迫、暴行等の行為です。留学に際しては、一般的な犯罪だけでなく、ヘイトクライムにも巻き込まれないように、どのように振る舞うべきか、今一度、対策方法を確認しておきましょう。

1. 自分を守るのは自分

危機管理や安全対策のはじまりは、「情報収集」です。出発前だけでなく、到着後も町の治安状況や生活環境について、積極的に情報を入手しましょう。実際にそこで暮らす人から、生きた情報を得ることは有用です。犯罪に巻き込まれたことを想定し、警察署や警官が立ち寄る場所、コンビニエンスストアやドラッグストアなど、避難できる場所を確認しておくことも大切です。しかしどんな情報も、あなたがそれを生かせなければ、役に立ちません。自分を守るのは自分だという認識を忘れないようにしましょう。また、滞在先の住所が決まったら、**外務省「オンライン在留届」もしくは「たびレジ」の登録を必ず行ってください**。現地の事件・事故の情報等が得られるだけでなく、万が一、事件・事故等に巻き込まれた際に現地の大使館・総領事館からの支援が迅速に行われます。

2. 新たな知人・友人と良好な関係を築く

海外でトラブルに遭遇した場合、自分だけの力で解決できないことがたくさんあります。留学受入機関が主催するオリエンテーションには必ず参加し、国際交流アドバイザーや先輩の留学生、そして同じ時期に留学生活を始める学生と親しくなるように努めましょう。危険や不安を感じたときに、信頼できる相談先があると安心です。あなた自身が差別的な意識を持たずに人と接することが、大学内外での生活を円滑にするひとつのポイントかもしれません。

3. リスクを減らす

犯罪発生率の高い地区を訪れたり、深夜の一人歩きが危険なことは、言うまでもありません。ヘイトクライムは、その多くが商業施設、道路や公園などの公共の場所で発生しています。差別的な言葉による嫌がらせ、意図的に避けられる等の行為が大部分です。リスクの高い場所と時間帯を避けることで、トラブル回避に努めましょう。例えば、スーパーマーケットも、価格帯や地域により客層が異なることがあります。危険を招きやすい行動は可能な限り避け、帽子やフードより、外見の露出を減らす等の予防策も必要に応じて講じてください。また、不審だと感じた場合には、速やかにその場から離れる、相手を刺激しない等、自身の安全を守る行動を優先するように心掛けましょう。